

令和4年度第1回八千代市障害者自立支援協議会  
会議録

開催日時 令和4年12月15日(木) 10時00分から11時10分まで

開催場所 八千代市保健センター1階 大会議室

出席委員 出席委員一覧のとおり

事務局 課長 陰山 路加 主査 木村 友和 主査 柳澤 淑恵  
(障害者支援課) 主査補 木村 絵美 主任主事 富田 沙知

議 題

- (1) 第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に対する中間評価について
- (2) 日中サービス支援型共同生活援助事業所に対する評価について
- (3) つなげる分科会からの提言等について
- (4) 第八次千葉県障害者計画策定に係る意見聴取について
- (5) 地域生活支援拠点等について
- (6) 各分科会の活動について
- (7) その他

公開・非公開 公開

傍聴人 0名(定員3名)

## 審 議 内 容

事務局	<p>定刻となりましたので、ただ今から、令和4年度第1回八千代市障害者自立支援協議会を開会します。</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。</p> <p>私は、司会進行をさせていただきます、事務局の柳澤です。よろしくお願いいたします。</p> <p>本会は、「八千代市審議会等の会議の公開に関する要領」の規定に基づき、会議を公開するとともに、会議録作成のため、会議の状況を録音させていただきますので、予めご了承ください。このため、委員の皆様におかれましては、大きめの声でご発言くださいますようお願いいたします。</p> <p>本日は、傍聴の届出はありませんでしたので、お知らせいたします。</p> <p>本日、吉野委員、藤村委員、森田委員、門倉委員、林委員より欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>議事に入る前に、資料の確認をさせていただきます。</p> <p><b>【配付資料の確認】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>○席次表・次第・委員名簿・本協議会設置要綱</li><li>○福祉計画の中間評価に係る資料（資料1-1～1-4）</li><li>○日中サービス支援型共同生活援助の評価に係る資料（資料2-1・2-2）</li><li>○つなげる分科会からの提言等に係る資料（資料3-1～3-3）</li><li>○第八次千葉県障害者計画策定への意見に係る資料（資料4-1～4-3）</li><li>○地域生活支援拠点等に係る資料（資料5-1～5-3）</li><li>○くらし分科会に係る資料3点（アンケート結果、実績報告、パンフレット）</li><li>○研修会案内リーフレット</li></ul> <p>これから議事に入りますが、ここで1点皆様にお願ひがあります。本日は議題が多いこともあり、事前に資料をお送りさせていただきました。感染症の対策としましても、会議時間を短縮して行いたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。</p> <p>ここからの議事進行は、木崎会長をお願いします。</p>
議長	<p>すみません。議事に入る前に、対面でお会いするのは初めてだと思いますので、簡単に挨拶をさせていただきます。今回、会長を仰せつかりました、なごみの家で管理者をやらせてもらっています、木崎と申します。よろしくお願いいたします。</p>

副会長	<p>今年度より、自立支援協議会に参加させていただきます、身体障害者福祉会きらめき支援センターの小竹と申します。よろしくお願いします。</p>
議長	<p>改めて、議事に入りたいと思います。議事は、次第に沿って進行させていただきます。本日の議題は、(1)第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に対する中間評価について、(2)日中サービス支援型共同生活援助事業所に対する評価について、(3)つなげる分科会からの提言等について、(4)第八次千葉県障害者計画策定に係る意見聴取について、(5)地域生活支援拠点等について、(6)各分科会の活動について、(7)その他です。</p> <p>それでは、議題(1)、「第6期障害福祉計画及び第2期障害児福祉計画に対する中間評価について」に入ります。当該計画の中間評価については、各分科会で検討をしていただき、本日その結果を資料1-1から1-4で配付しています。改めて中間評価の内容を確認すると、①の「福祉施設の入所者の地域生活への移行」、③の「福祉施設から一般就労への移行等」、④の「相談支援体制の充実・強化等」、⑥の「障害児支援体制の整備等」については、関係する各分科会にお願ひし、②の「地域生活支援拠点が有する機能充実」及び⑤の「障害福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築」については、全ての分科会で検討いただくことになっていました。</p> <p>それでは、分科会での検討結果について、各分科会長よりご報告いただきたいと思います。始めに、くらし分科会からお願いしたいと思いましたが、恩田分科会長がいらっしゃらないのですが、どうしますか。</p>
事務局	<p>恩田分科会長に代わり、事務局から報告させていただきます。</p> <p>資料1-2です。くらし分科会でまとめていただいた意見です。「(1)福祉施設の入所者の地域生活への移行」の部分につきましては、「地域生活移行者や施設入所者の削減に関する「数」だけでなく、施設入所者や家族、支援者それぞれの事情やニーズを丁寧に聞き取り、施設入所者や家族が望むサポートやサービスの「質」の充実が必要だと思う。」という意見、また、「5つの機能が揃った地域生活支援拠点や関連の事業所と行政が連携する等の運用を整えることで「質」の向上並びに地域生活移行者の増加に繋げて欲しい。」、また、「地域生活へ移行できない原因や課題などの掘り起こしが必要ではないか。」という内容になっています。</p> <p>次に、「(2)地域生活支援拠点が有する機能の充実」の部分につきましては、「本年10月から運用開始したことは評価する。「相談、緊急時の受け入れ・対応」だけでなく、早い段階で他の3つの機能を整えていただきたい。」、「コーディネーターの増員を早めに検討していただきたい。」、「運営状況の確認や今</p>

	<p>後の計画の検討について、各団体・自立支援協議会・行政・事業所が連携し、定期的に協議する場が必要である。」、また、「様々な支援機関が関わる事で、よりよい支援体制にするためにも、地域体制強化共同支援加算に関して、市の考え方を明確にする等で、事業所が地域生活支援拠点事業に参加しやすい体制を整えていただきたい。」という内容になっています。</p> <p>次に、「(5) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築」に関する意見につきましては、「研修は、市職員だけの取組みだけではなく、民間や法人も含めた各関係機関と連携がすぐに取りれるような横の繋がりを持てるような体制の構築が必要ではないか。」、「障害福祉サービスの質の向上のためには、必要としている障害児者や家族等から意見や希望等を伺い、そこに関わるサービス事業所等に伝え、サービス提供から提供後のアフターケアを含めたサポート体制の充実化が必要ではないか。」というご意見となっています。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、つなげる分科会の檜垣分科会長お願いします。</p>
檜垣委員	<p>はい。つなげる分科会からは、「(2) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実」についての意見を出しています。「運用状況の検証等を行っていく上で、より検証等が行いやすくなるためにも現在の地域生活支援拠点等事業に関する進捗について適宜、報告等があると良い。」、「基幹相談支援センター等他の相談支援事業所の機能を補う組織であって欲しいため、従来の事業所が閉じている時間帯や休日の支援体制の整備をして欲しい。また精神障害者が不安定になった時の家族支援の機能も担って欲しい。」、「他自治体の動向や内容も参照しつつ、地域生活支援拠点等の運営が行われるようにすると良いのではないか。」、「障害児の緊急時の受入れ先がないという問題があるため、拠点がそれを担えるものであってほしい。」、「そもそも障害児の短期入所の受入れ先がないという問題が八千代市にはある。「緊急」じゃなくても障害児の短期入所の受入れができないか、というところから検討してもらうことで協力してくれる事業所ができるかもしれない。「緊急の短期入所」だと、事業所側もハードルが高くなってしまう。」と、このような意見が出ました。</p> <p>次に、「(4) 相談支援体制の充実・強化等」です。「主な活動指標の中で「人材育成の支援件数（市で行う研修等）」について、令和3年度は実績値ゼロとなっているため、実績値のカウント基準について、市で行う研修会がどの程度のものまで実績に含めることができるか、今後見直しをした方がよいのではないか。」、「八千代市のように基幹相談支援センターが庁内（障害者支援課）</p>

	<p>に設置されているのは、他の自治体と比べ少数。基幹相談支援センターが庁内（障害者支援課）に設置されていることへのメリット・デメリットについて精査をし、明確にすることで、デメリット解消への模索や、場合によっては、基幹相談支援センターを外部に設置することも含めて最善の方法を検討していくことも必要。」という意見でした。</p> <p>そして、「(5) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築」についての意見は、「八千代市は請求の過誤があった際、連絡をくれる。何の連絡もなく返戻してくる自治体も多いため、八千代市は今後も事業所への連絡等を変わず行って欲しい。」「福祉サービスの質の向上のため、対人支援について学ぶ機会を設けていただきたい。」「市職員の日々の研鑽、研修への参加等の成果が市民に還元できる方策があると良い。ホームページに、市職員が参加した研修の内容や研修について、職員の簡単な感想等を掲載する等。」が意見として出ました。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、しごと分科会の小原分科会長お願いします。</p>
小原委員	<p>はい。資料1-3です。しごと分科会では、まず、「(2) 地域生活支援拠点等が有する機能の充実」ですが、分科会の会議を開催した時期がずれていまして、「10月の地域生活支援拠点等事業開始に向けて、引き続き取組みを進めて欲しい。」という意見が、その時は出ていました。「市民に対しどうやって周知啓発していくか。コロナもあり、親の会などの横のネットワークが薄くなっており、情報が横に広がりにくいのが現状である。」「保護者からの、どこに何をどう相談すればいいかわからないという問合せに対し、とりあえず市へ相談するように伝えることが多い。相談支援事業所もあるが、数も少なく、こうした問い合わせに対応してもらうことが難しい。福祉について、何をすれば何を使えるのか、教えてくれる所があると分かりやすくして良い。」</p> <p>次に、「(3) 福祉施設から一般就労への移行等」というところですが、「移行については、妥当な目標をクリアしている。」「就労Aと就労Bについては、一般就労への移行という目標自体が、利用者のニーズを踏まえると、目標設定としてそぐわないのではないかと。利用者からすれば、就労Aがそもそも就労の場であり、就Bについても、結果として、利用者が自発的に一般就労へ移行した事例はあるものの、基本的には就Bから一般就労を希望する利用者はほとんどいない。市として、就労A・就労Bは、一般就労へ移行して欲しいという考えを持って目標設定をしているということな</p>

	<p>のか。」「目標設定について、定着支援事業を利用した割合ではなく、「就職した人の定着率」とするのが、定着支援の効果・ニーズを測る上では望ましいのではないか。」「就職後6か月までは移行支援で、就職後6か月以降は定着支援となるが、就職後6か月以内で定着支援に至らず辞めてしまうケースが多い。本人の準備が足りていない、そもそも就職できる段階にない人を就職させてしまい、結果、早期に離職してしまうケースも多い。」「市内就労定着支援事業所の事業所数が今後変わる場合があり、目標設定にも影響するため確認が必要である。」</p> <p>最後に、「(5) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築」というところでは、「地域生活支援拠点等事業等の新たなサービスについても、職員が知識を習得し、市民に提供できるようにしてもらいたい。」以上、しごと分科会からでした。</p> <p><b>【恩田分科会長入室】</b></p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>最後に、こども分科会ですが、事務局からよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。</p>
議長	<p>よろしくお願いします。</p>
事務局	<p>こども分科会につきましては、吉野分科会長が本日欠席しておりますので、吉野分科会長に代わり、事務局から報告させていただきます。</p> <p>「(2) 地域生活支援拠点等有する機能の充実」につきましては、「事業を開始できたことは良いことであり、緊急時の対応等の際に大きな役割を果たすものと思う。障害児の緊急時の受入れや短期入所等の課題が解消されることを期待したい。」「今後、市民への周知や事業所への説明や案内等、拠点に関する普及・啓発を具体的に進めていただきたい。」</p> <p>「(5) 障害福祉サービス等の質を向上させるための取組みに係る体制の構築」につきましては、「現状の取り組みを行っていただくとともに、療育に関する相談やサービスの提供等を適切に受けられる体制整備を進めていただきたい。」「質の向上という意味では、行政、教育機関、事業所、医療機関等の連携や情報共有が必要であるため、各主体が連携や情報共有できるような体制を構築していただきたい。」</p> <p>「(6) 障害児支援の提供体制の整備等」につきましては、「児童発達支援</p>

議長	<p>や保育所等訪問支援について、見込量と実績値に乖離があるので、見込量の算定方法を検討いただきたい。また、放課後等デイサービスについても利用者の増加が想定されるため、併せて検討いただきたい」、「増加傾向にある障害児のニーズや市内の状況、課題を踏まえて、他の児童に関する施策（子ども施策）等との連携を図る等、将来を見据えた検討に取り組んでいただきたい。」、「医療的ケア児に関するコーディネーターについては、協議の場を活用する等して、配置できるよう進めて欲しい。」という意見になっております。以上です。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>各分科会長から報告がありましたが、何か意見のある委員はいらっしゃいますか。</p> <p>(意見なし)</p>
議長	<p>もし、意見がないようであれば、本日資料として配付した各分科会からの意見提出書を取りまとめの上、本協議会からの意見として、市へ提出することとしてよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
議長	<p>それでは、本協議会から市への意見としては、そのように提出することとします。</p> <p>意見提出後について、事務局から説明してもらえますか。</p>
事務局	<p>事務局の富田です。本協議会から意見書をご提出いただきましたら、計画の進捗状況を踏まえた上で、PDCAサイクルシートのAの部分に記載し、次回の協議会等で提示できればと考えています。以上です。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、議題(2)、「日中サービス支援型共同生活援助事業所に対する評価について」に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の富田です。私から、議題(2)について説明いたします。使用する資料は、番号2-1及び2-2です。</p> <p>日中サービス支援型共同生活援助事業所に対する評価につきましては、協議会の評価として、評価結果を事業所へ通知するとともに、千葉県総合支援協議</p>

	<p>会へ報告することとなっていますことから、全体会において議題とさせていただきます。</p> <p>なお、評価はすでに、各分科会から選任いただいた委員4名で構成された評価チームにおいて実施しており、評価に係るこれまでの経過につきましては、資料2-1のとおりであり、評価チームにおける評価結果につきましては、資料2-2のとおりです。これら資料は、皆様へ事前に送付しご確認いただいていることと思いますので、詳細な説明は割愛させていただきます。</p> <p>以上で、議題(2)の説明を終わります。配付資料の「報告・評価シート」を本協議会の評価として決定し、当該シートを以て事業所へ通知及び県へ報告してよろしいか、ご協議の程、よろしく申し上げます。</p> <p>事務局から説明がありましたが、何か意見のある委員はいらっしゃいますか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>代表者会議の時に、居住と日中活動の場が一緒であるというところが、強度行動障害の方には難しいのではないかとの意見が出た経過があります。その辺のことは、参考意見として、今後検討していければと思います。</p> <p>もし、皆さんから意見がないようであれば、本協議会の評価を配付資料の「報告・評価シート」のとおりで決定し、事業所へ通知及び県へ報告することになりますが、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、この内容で対応していただければと思います。評価チームの皆さんにおかれましては、お疲れさまでした。ありがとうございました。</p> <p><b>【事務局挙手】</b></p> <p>事務局どうぞ。</p> <p>事務局の富田です。1点補足させていただきます。「報告・評価シート」につきましては、本協議会の活動実績として、今年度も市ホームページに掲載する予定となっています。以上です。</p>
議長	
議長	
議長	
議長	
事務局	



議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、議題(3)、「つなげる分科会からの提言等について」に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の木村絵美と申します。つなげる分科会の事務局を担当させていただいています。本日はお時間をいただきましてありがとうございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日使わせていただく資料が、クリップ止めの資料3-1から3-3ということで、皆さんのもとに用意されていると思います。</p> <p>今回は、最初に、各分科会にてつなげる分科会からの提言等についてご協議いただいた報告の他、つなげる分科会の活動から皆様へ報告ご相談したいことがありますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>提言等の前に、ご報告があります。使う資料は、資料3-1と3-2です。こちらの「事例提出シート」ですが、「見覚えがないのに、なぜこんな資料がついているんだろう」と疑問に思われた方もいらっしゃるかと思うんですけども、この「事例」は、資料3-2の「拠点等に係る加算」に関するものになりますので、これから説明させていただきます。</p> <p>資料3-2の最終ページの下の方に「地域の体制づくりの機能の強化」とありまして、「地域体制強化共同支援加算」が月当たり2,000単位と書いてあるもので、先程の資料1-2のくらし分科会からの中間評価に係る意見の中で「検討を」と言っていたものになります。この加算については、相談支援事業所が拠点の登録をしていただくという前提があるんですけども、困難事例を検討して自立支援協議会に報告をしたら加算が取れるというもので、その自立協に報告するための国の標準様式もあるようなものになります。今後、そういった困難事例を検討できるような流れの整備が必要だというご意見もいただいていた中で、11月17日に開催した第4回つなげる分科会にて、この話も出ましたので、ご報告させていただきました。</p> <p>11月17日の分科会で協議に至った経緯としましては、先程もお伝えしましたように、困難事例を検討するこの加算の関係ですとか、流れをしっかりと検討してもらいたいという意見が出ておりました。また、資料3-3のつなげる分科会からの提言等の会議録の方にもありますように、「(3)現状の支援体制や社会資源では対応できない課題について…」というところで、課題について話し合った中で、これまでのつなげる分科会の活動成果についても検証を行った方が良いのではないかとの意見をいただきましたので、平成25年ぐらいから今年度までの議事録で、今までの活動を皆さんと振り返りをさせていただきました。そうしたところ、平成25年前後に、つなげる分科会を中心に、各分科会から事</p>

例を提出してもらおう形で事例検討を実施していたことが分かりました。かなり委員さんも変わっているのですが、そういった経過をご存じでない方もいらっしゃるかと思いますので、口頭で経過を説明させていただいております。この流れにつきましても、「困難事例なのか」、「事例検討に向けてどんな関係機関や自立支援協議会の委員を呼ぶのか」といった判断をつなげる分科会が中心的な役割を担っていたというところで、協議会の枠にとらわれない事例検討を行っていたようです。この自立支援協議会は、設置要綱の第2条にもありますように、「処遇困難事例への対応のあり方の協議及び調整に関すること」を管轄している協議会にあります。皆さんお持ちでいらっしゃると思うんですけども、障害者計画の図にありますように、困難事例の相談先は、基幹相談支援センターである障害者支援課になります。ただし、困難事例かどうかの判断を基幹とはいえ、当課だけで実施するのではなく、多角的な目というところで、自立支援協議会の方にもご協力いただけたらと考えております。

今までの経過の報告からしますと、つなげる分科会で実施したらどうかのご意見もあるかもしれないんですけども、現在のつなげる分科会の構成が、当時とは違って、当時は相談支援事業所ですとか、相談支援のベテランの方等がけっこういらっしゃったのですが、今は、学識経験者であります檜垣先生、権利擁護団体の代表ということで鈴木委員と林委員、障害者団体の代表として石田委員、医療機関の代表として門倉委員、相談支援事業者の代表として木崎委員が所属していただいているという形になっております。今回、相談支援事業所からの困難事例の話をすると、相談支援業務に関わっていただいている方が中心になって判断ですとか検討をしていただいた上で、必要に応じて、事例検討時に様々な方に関わっていただく形が良いかと考えております。委員名簿の「分野」が相談支援事業者の代表となっているのが、恩田委員、木崎委員、吉野委員の3名になります。その3名を中心にする形、もしくは、現在の代表者会議にこの3名の方が参加していただいているほか、小竹委員、小原委員も相談支援業務に関わっている事業所さんでありますし、学識経験者である檜垣先生もいらっしゃるということで、代表者会議のメンバーの方にご協力いただく形のどちらかでいかがかなと思っております。

なお、本日の協議の中で、どちらかのグループでやった方が良いという意向が決まりましたら、フローチャート化等して見える化をさせていただければと思っております。

どのような方にご協力いただいた方が良いか等、ご意見をいただければと思います。ご協議よろしく願いいたします。

議長

ありがとうございます。

	<p>事務局からの説明で、何かご意見等ある委員はいらっしゃいますか。</p> <p>また、今言われた困難事例の検討をどこの場でやっていったら良いのかということについて、ご意見等いただけたらと思います。</p> <p>(意見なし)</p>
議長	<p>説明の内容で良いという形でよろしいですかね。</p> <p>先程言われた困難事例のケースに関しては、1つは相談支援に携わっている委員3名でという話と、代表者会議のメンバーでという話のどちらかですかということなのですが、どうですかね。恩田さんとか、3名でと言われた場合どうですか。</p>
恩田委員	<p>そうですね。色々な視点からという意味では、3名だけではなくて、色々な目があった方が良いのかなと感じます。</p>
議長	<p>私もそう思います。自分も入れて3人だけというと、なんか偏りが出てしまうのかなという心配があります。</p> <p>代表者会議でとなると、実際に代表者会議に参加していただいている委員さんはいかがですか。</p>
小原委員	<p>そうですね。代表者会議に参加しているのは、各分科会の代表が出ているので、場合によっては、分科会の中でも意見をもらえるような機会ができると思いますので、どちらかという、そちらの方が良いのではないかなと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>このような意見が出ましたので、意見を参考に、事務局の方で改めてシステムを作っていただけると有り難いかなと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>次は、つなげる分科会からの提言等について、各分科会にお邪魔させていただいた結果について、資料3-3の資料を基に報告をさせていただきたいと思います。</p> <p>皆さんには、今回、「急にこんな事言われても」というのもあったかもしれないのですが、色々なご意見を頂戴いたしまして、本当にありがとうございました。会議録からの抜粋をまとめただけなんですけれども、資料は先にお渡ししていますので、詳細の説明は割愛させていただきます。</p>

	<p>意見の要旨としましては、主に2点になるかと思えます。1つは、「足りない社会資源」についての意見、もう1つは、「現状の支援体制や社会資源では対応できない課題や障害の「にも包括」について、現状を知った段階であるため、まずは課題の共有と横の繋がりができると良い」といった意見です。</p> <p>八千代市障害者自立支援協議会は、設置要綱の第2条にもありますように、「地域の関係機関によるネットワーク構築等に向けた協議に関する事」と及び「地域の社会資源の開拓及び改善に関する事」を管轄することとされていますので、引き続き、一分科会に限らない形で、まずは現状の把握等を積み上げながら、課題の解決に向けたシステムが作れたら良いのかなと考えております。</p> <p>次年度以降も各分科会で、今までの活動はなるべくお邪魔しないような形で、今回のような議題で、年1回でも良いので協議していただくことで、障害にも包括との連携ですとか、先々の八千代市としての社会資源の検討に繋がるのではないかと考えております。</p> <p>必要に応じて、今回のように、通常の方科会メンバー以外がお邪魔させていただく形もとれたらと思っておりますので、ご協議の程、よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>今回のような、1つのテーマで各分科会で一緒に検討いただくという形を今後も進めていけたらと思えますが、これについて、何かお考えやご意見がある方がいらっしゃいましたら、挙手して発言をいただくと有り難いです。いかがでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>そうしましたら、今回、こういう形でやっていくことを来年度以降も継続していく形で話を進めていくという方向でよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>事務局はよろしいですか。</p> <p>はい。ご協議ありがとうございました。</p> <p>また、障害にも包括の色々な報告等は、つなげる分科会から発信させていただきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願いいたします。ありがとうございます。</p>
議長	
議長	
議長	
事務局	

議長	<p>した。</p> <p>次に、議題(4)、「第八次千葉県障害者計画策定に係る意見聴取について」に入ります。事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>事務局の富田です。私から、議題(4)について説明します。使用する資料は、番号4-1から4-3です。</p> <p>現行の第七次千葉県障害者計画の計画期間が令和5年度をもって終了することに伴いまして、千葉県より、次期計画を策定するに当たり、本協議会の意見を伺いたいとの依頼があり、回答の際は、意見を取りまとめた上で提出を求められていますことから、全体会において議題とさせていただきます。ご協議いただくに当たり、始めに、県から求められている意見につきましてご説明します。配付資料の4-3をご覧ください。</p> <p>設問は全部で2点あり、1つは、「現在の障害者施策で特に課題と考えること及びその理由」、もう1つは、「第八次千葉県障害者計画で特に期待することや取り組んだ方が良く考える施策及びその理由」です。その他、「県障害者施策についてお気づきの点等」が記載可能な形式となっています。なお、全ての設問に意見する必要はなく、また、ご意見がない場合につきましては、「意見なし」の旨を回答することとなっています。</p> <p>ご意見をいただく上での参考資料につきましては、県より2点提供されており、皆様には、事前に資料を送付させていただきます。本日も配付資料4-1及び4-2として配付はしていますが、資料の説明は割愛させていただきます。なお、県への回答期限は、今月の28日となっています。</p> <p>以上で、議題(4)の説明を終わります。ご協議の程、よろしくをお願いします。</p>
議長	<p>事務局から説明がありましたが、県に対して意見のある委員がいらっしゃいましたら、意見をお願いします。</p> <p>(大庭委員 挙手)</p>
議長	<p>大庭委員、お願いいたします。</p>
大庭委員	<p>はい。手をつなぐ親の会の大庭と申します。</p> <p>県への締切が28日とのことですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>

大庭委員	<p>親の会の会長宛にも、県の育成会の方から調査票が来ていまして、ついこの間、会長の方から内容をいただいたばかりなので、その内容を今から提出して大丈夫ですか。(障害者)支援課の方に提出してもよろしいのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回につきましては、自立支援協議会としてのご意見になるので、別の団体からのご意見はその団体からご意見を提出していただければと思います。</p>
障害者支援課長	<p>もしくは、団体さんの中で、これは自立支援協議会の中に出して、そこから出した方が良くというお考えでしたら、ご提出いただくということで結構だと思いますけれども。</p>
大庭委員	<p>親の会としても、県の育成会の方から調査票を出すということを聞いているんですけども、こういった内容は、複数の団体から出した方が効果的だということを伺っていますので、もちろん内容をきちんと見た上で、自立協の意向に沿う形のをまとめたと思っていますけれども、もし可能であれば、親の会からの意見として提出させていただければと思いますけれども、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>後程、そのご意見を事務局の方にいただいて、それから皆さんに周知させていただいた上で、それを自立協の意見として、県の方に提出させていただくという形をとらせていただいてもよろしいですか。</p>
議長	<p>そうですね。大庭委員のように、他にも、もう少し熟慮してから意見を出したいという委員さんもいらっしゃるかもしれないので、では、事務局の方に何日頃までに出していただければいいですかね。</p>
事務局	<p>そうでしたら、改めてメールで周知させていただきたいと思います。</p>
議長	<p>よろしくお願ひします。 他に、何かご意見はありますか。</p> <p>(意見なし)</p>
議長	<p>他になければ、後日、改めてメールでご連絡いただいてという形で話を進めていく方向でよろしいですかね。</p>

<p>障害者支援課長</p>	<p>(異議なし)</p> <p>よろしく申し上げます。</p>
<p>議長</p>	<p>次に、議題(5)、「地域生活支援拠点等について」に入りますが、こちらは報告案件となります。事務局は報告をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>事務局の富田です。私から、議題(5)について報告いたします。使用する資料は、番号5-1から5-3です。</p> <p>10月より、本市における地域生活支援拠点等事業が開始しましたが、現在の進捗につきましてお伝えさせていただきます。配付資料の5-1をご覧ください。</p> <p>委員の皆様には、10月上旬にメールで、事業開始時点の状況を1度ご報告していますが、今回の資料は、11月末現在までの対応の進捗を記載しています。内容は、「事業の周知方法及び周知内容」・「事業の周知先」・「事業所の登録状況」の3つの項目に分けています。</p> <p>始めに、「事業の周知方法及び周知内容」ですが、ホームページで周知を行うほか、リーフレットに関しましては、一般への周知用として新たに作成しまして、配付資料の5-2のとおりとなります。現時点では、一般周知用のリーフレットは、事業への協力を必要とする関係機関や団体へ事業説明を行う際に使用しています。</p> <p>次に、「事業の周知先」ですが、八千代市手をつなぐ親の会、かたくり会、自閉症協会、八千代心身障害児者父母の会及び習志野八千代心の健康を守る会に対して行いました。また、地域包括支援センター管理者会議にて、コーディネーター同席の上、コーディネーターの紹介及び事業内容の説明を行いました。なお、かたくり会より、医療機関等への周知についてご要望があったため、11月18日に八千代市訪問看護師会のZOOM会議に参加させていただき、事業の案内を実施しました。また、その他、一般科病院や精神科病院等に対して周知を検討しているところです。現在、周知先を段階的に広げているところではありますが、事業説明をご要望される事業所がありましたら、説明に伺えればと考えています。</p> <p>次に、「事業所の登録状況」ですが、11月末時点では8事業所が拠点機能を担う事業所として登録されています。これらの拠点登録事業所は配付資料5-3のとおりで、こちらはホームページで公表しています。なお、12月22日に、コーディネーターを中心とした登録拠点の担当者会議が開催される予定となつ</p>

議長	<p>ております。</p> <p>最後に、資料はありませんが、コーディネーター業務の進捗につきましても報告をさせていただきます。事業開始後、現在まで事前登録の啓発に努めていただいております。また、先程お伝えしました、12月開催の登録拠点の担当者会議に向けて準備を進めていただいているところです。その他、事業開始後、障害児の母親1名から相談があり、11月上旬に事前登録の受付を行いました。</p> <p>以上で、議題(5)の報告を終わります。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>事務局の報告について、質問等があればお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
議長	<p>特になければ、終わりにさせていただきます。次に、議題(6)、「各分科会の活動について」に入ります。各分科会長より報告をお願いします。</p> <p>始めに、くらし分科会の恩田分科会長からお願いします。</p>
恩田委員	<p>くらし分科会の分科会長をさせていただきます。八千代地域生活支援センターの恩田と申します。</p> <p>くらし分科会の本年度の活動状況について、ご報告させていただきます。令和3年度に、新型コロナウイルス感染対策における「新しい生活様式の1つである「マスクの着用」に重点をおきまして、障害者がどのようなことで困っているか等を収集することを目的として「新しい生活様式に関するアンケート」を実施しまして、その調査結果をまとめました。お手元の資料でアンケート調査結果をご覧ください。</p> <p>アンケートの対象者への回答依頼から回収まで、くらし分科会以外の委員の皆様にも多大なご協力をいただきました。この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。啓発活動といたしまして、本年の11月12日(土)と13日(日)に秀明大学の飛翔祭に、3年ぶりに出展させていただきました。お手元の資料の冊子をご覧ください。3年ぶりの開催ということもあり、例年どおりの福祉避難所に関する掲示物の展示や車椅子体験等だけでなく、先程お伝えした「新しい生活様式に関するアンケート」結果も展示させていただきました。また、競技用車椅子の展示、体験エリアの増設をしたり、こうした冊子を新たに作成したりして、体験した後も何かを感じただけのように工夫をしました。</p> <p>来場者は、2日間で167名と、幅広い年齢層の方々にお越しいただきました。</p>



	<p>啓発活動を終えての感想を資料の裏面に記載してありますので、後程お読みいただければと思います。</p> <p>最後にアンケートの回答結果につきましては、飛翔祭にて来場者限定で発信という形をとらせていただきましたが、今後、社会に情報発信することで、より多くの方の理解が進むことを願っていることから、市のホームページで自立支援協議会の活動として結果を公表させていただきたいというところと、アンケートにご協力いただいた当事者や関係者の方々にフィードバックしたいというふうに考えております。</p> <p>結果の公表をする目的ですが、ホームページに掲載することは、自立協の取り組みとしての位置付けも出てくることから、この場をお借りして、市のホームページで公表させていただくことについて、皆様のご了解を得られれば、公表したいと考えておりますので、よろしく申し上げます。以上です。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>ただ今、恩田分科会長から、報告と併せて発案がありましたので、分けて皆さんにお聞きしたいと思います。先に、恩田分科会長からの報告について、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
議長	
議長	<p>質問等なければ、次に、発案のありました、「新しい生活様式に関するアンケート調査結果」を市のホームページで公表することについて、何か意見のある委員はいらっしゃいますか。</p> <p>(意見なし)</p>
議長	<p>恩田分科会長からありました、市のホームページに載せたいということにつきまして、ご了承いただけるということですのでよろしいですかね。</p> <p>(異議なし)</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、アンケートの調査結果を市のホームページで公表する形をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、つなげる分科会の檜垣分科会長から報告をお願いします。</p>

<p>檜垣委員</p>	<p>つなげる分科会から報告させていただきます。</p> <p>令和4年度は、これまで、5・7・9・11月と4回分科会を実施しています。5月の分科会につきましては、代表者会議の内容や、先程検討いただきました、つなげる分科会からの提言等について事務局担当職員が各分科会にまわる形で協議していただくことになったことを共有しました。その後、今年度の活動計画を確認したところです。7月の分科会では、つなげる分科会からの提言等について、つなげる分科会でも協議しました。その内容は、資料3-3をご参照いただければと思います。9月は、第6期障害福祉計画・第2期障害児福祉計画中間評価について、主に協議しました。内容は資料1-1のとおりでございます。その他、自立支援協議会にて、支援困難事例の個別支援会議の実施を具体化していこうと意見で一致しております。先月11月の分科会では、分科会からの提言等について各分科会を回った結果等について共有しまして、つなげる分科会におけるこれまでの活動の成果・検証について、今までの議事録をまとめた資料を基に話し合いをしております。</p> <p>これまでの活動成果につきましては、「相談支援事業所連絡会を定期開催していることもあり、「横のつながり」ができています。」ということ、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて、つなげる分科会で協議した内容を報告としてまとめ、代表者会議で報告するというシステムが構築できた。」「自立支援協議会として、困難事例について事例検討を行うという体制がとれておらず、整備を進めていく。」ということ、「米本のコミュニティスペース「ほっこり」の活用について、子供から大人まで障害の有無に関わらず誰でもOKであるが、どうしても高齢の方々に傾いてしまう部分がある。つなげる分科会等にて周知・活用していくことで、障害分野にも少しずつ周知ができています。」という意見が出ています。</p> <p>精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの今年度の活動報告については、2月に予定しています。その後、3月に今年度の活動を振り返る予定です。つなげる分科会からの報告は以上です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>檜垣分科会長からの報告について、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
<p>議長</p>	<p>質問等なければ、次に、しごと分科会の小原分科会長からお願いします。</p>
<p>小原委員</p>	<p>しごと分科会、ふる里学舎八千代の小原と申します。よろしく申し上げます。</p>

	<p>しごと分科会の方では、継続してチャレンジドオフィスやちよの状況の把握と助言等を行っているのが活動の1つです。2つ目が、昨年から、就労系の事業所が八千代市の中でどんどん増えてきているんですけども、横の繋がりであったりとか、顔の見える関係というものがなかなかできないというところで、見学会と意見交換会というのを昨年に1回実施しております。参加された方からは、好評なご意見をいただいていたということと、まだまだ参加者が少ないということもあって、そこは継続していこうということで、今年も、コロナ禍ではあるんですけども、計画を立てております。昨年は、実際に施設を訪れて見学をして、その後に意見交換を行うという形でやったんですけど、今またコロナの感染が増えてきているということで、今年も、ZOOMを使って施設の中を紹介してもらおう形と、パワーポイントで、実際にその場に来ていただいて施設紹介をしてもらおうという形で、それを見学会に充てた上で、その後、意見交換を行う。これを1月19日にやろうということで計画を立てております。</p> <p>最後に1点。皆さんの手元には置いていないんですけども、『就労系事業所ガイドブック』というものを作成しております。これは、八千代市のホームページにも載っているんですけども、今ですと、就労系の事業所が全部で八千代市内18か所ということで、その各事業所がどこに位置しているかであったりとか、定員が何名で、平均工賃がいくらで等、利用したい方が知りたいような情報を細かく載せており、この3月に更新していくという予定になっております。皆さんも、問合せがあった時には、こういったものを活用していただければ有り難いなと思っております。しごと分科会からは以上です。</p> <p>議長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>小原分科会長からの報告について、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p> <p>議長</p> <p>質問等なければ、最後に、こども分科会からの報告ですが、吉野分科会長が欠席なので、事務局からお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>こども分科会の活動について、事務局よりご報告いたします。</p> <p>こども分科会につきましては、今年度4回、ZOOMを使用して会議を予定しております。直近では、10月に3回目を終えてというところで、次回は2月にといいところなんです。</p> <p>今まで、会議でやってきたことについては、分科会共通してやっている計画</p>
--	--

	<p>の中間評価であったり、つなげる分科会からの提言について検討したりという取組みを行っております。</p> <p>また、こども分科会では、例年、コロナが始まる前まで、どーんと祭等を活用して啓発活動ということを行っているのですが、今年度については、まだ啓発は行えていない状況にあります。</p> <p>その他の取組みとしまして、毎年、『療育支援マップ』をこども分科会で作っております。こちらは、10月1日現在で更新して、ホームページ等で周知しております。今年度の更新の特色としましては、今回40事業所まで載っているんですけども、11事業所の増加となっております、大変数が増えています。1つの法人が、例えば、勝田台と緑が丘に事業所を置く等、そういう増え方もあります。以上です。</p> <p>議長</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>こども分科会からの報告について、質問等ありましたらお願いします。</p> <p>(質問なし)</p> <p>議長</p> <p>質問等なければ、次に、議題(7)、「その他」に入りたいと思います。事務局からお願いします。</p> <p>事務局</p> <p>事務局の富田です。事務局から1点お伝えさせていただきます。</p> <p>次期障害者計画及び福祉計画の策定に係るアンケートの実施についてです。現行の「八千代市第5次障害者計画」が令和6年度で、「八千代市第6期障害福祉計画」及び「八千代市第2期障害児福祉計画」が令和5年度でそれぞれ計画期間が終了することに伴いまして、今年度に、次期計画を策定するための障害者及び障害児へのアンケートを実施する必要があります。アンケートは、既に今月13日に発送しまして、回答期限は今月末で設定しています。アンケートの対象者としてしましては、各種手帳をお持ちの方で、その中から無作為抽出しました障害者2,000名、障害児200名の合計2,200名となっています。なお、アンケートの結果につきましては、取りまとめの上、来年度及び再来年度の計画策定に活用していく予定となっています。以上です。</p> <p>議長</p> <p>事務局の報告について、質問等があればお願いします。</p> <p>(質問なし)</p>
--	--

議長	<p>質問等なければ、議題は以上となります。 委員の皆さんから連絡事項はありますか。</p> <p>【恩田委員 挙手】</p>
議長	<p>恩田委員，お願いします。</p>
恩田委員	<p>(習志野圏域精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業研修会の案内)</p>
議長	<p>ありがとうございます。 他にありますか。</p> <p>(連絡事項なし)</p>
議長	<p>他になければ，最後に，事務局から連絡事項をお願いします。</p>
事務局	<p>皆様，本日はご協議ありがとうございました。久しぶりの対面での会議ということで，準備等うまくいかず，皆様にはご不便をおかけしております。今年度はあと1回，2月又は3月頃に，コロナの状況を見ながらというところではありますが，開催できればと考えています。今後，日程調整をさせていただきますので，よろしく願いいたします。以上です。</p>
議長	<p>それでは，以上で，令和4年度第1回八千代市障害者自立支援協議会を閉会します。お疲れ様でした。</p>

(出席委員一覧)

	委員名	所 属	分 野	要綱
1	小野 美果	八千代市身体障害者 福祉会	障害者等及びその家族	第1号
2	恩田 信幸	八千代地域生活支援 センター	指定相談支援事業者を代表する 者	第2号
3	【会長】 木崎 早苗	なごみの家	指定相談支援事業者を代表する 者	第2号
4	岡山 香織	社会福祉法人実のり の会ビック・ハート	指定障害福祉サービス事業者を 代表する者	第3号
5	小原 正律	ふるさと学舎八千代	指定障害福祉サービス事業者を 代表する者	第3号
6	奥山 琢	社会福祉法人八千代 翼友福祉会きざし	指定障害福祉サービス事業者を 代表する者	第3号
7	西澤 昇太郎	こいけ障害者支援セ ンター	指定障害福祉サービス事業者を 代表する者	第3号
8	長谷川 恵美	八千代市母子保健課	保健機関を代表する者	第5号
9	坂井 里衣	八千代市教育委員会 指導課	教育機関を代表する者	第7号
10	阿利 泰子	千葉県立八千代特別 支援学校	教育機関を代表する者	第7号
11	岩橋 直也	船橋公共職業安定所 専門援助部門	障害者を雇用する法人を代表す る者	第8号
12	【副会長】 小竹 祐二	身体障害者福祉会き らめき支援センター	障害者団体を代表する者	第9号

13	石田 和美	八千代精神障害者家族会かたくり会	障害者団体を代表する者	第9号
14	大庭 久美	八千代市手をつなぐ親の会	障害者団体を代表する者	第9号
15	鈴木 亜矢子	八千代市社会福祉協議会	権利擁護関係団体を代表する者	第10号
16	檜垣 昌也	聖徳大学短期大学部 保育科	障害福祉に関する学識経験を有する者	第11号